

カウンセリングの実際の利用では、ブロック (73.8%)、大規模中核 (75.8%)、中規模中核 (69.1%) で概ね7割の回答者がすでにカウンセリングを何らかの形で利用していた。一方、小規模中核では、利用は43.9%に留まっていた。勧めと同様に利用においても、ブロック、大規模中核、中規模中核と小規模中核において結果に大きな差が見られた。改めて、利用と勧めの結果を比較してみると、大規模と中規模では、勧めと利用の結果に差はなく、大規模では、勧め:69.1%、利用:69.1%、中規模では勧め:75.8%、利用:75.8%であった。勧められたことが利用につながっている可能性を示唆させる。一方小規模中核では、勧め:53%、利用:43.9%であり、勧められた者のある程度が利用に結びついたりと考えられる。しかし、利用の前提となる可能性が高いスタッフからの勧めが元々少ないことが低い利用率に結びついているとも考えられ、利用を増やすためには、カウンセリングの勧めに関する状況をさらに詳細に把握し、この状況に対してなんらかの方策を講じる必要性が示唆された。

(5) カウンセリング利用者が感じるカウンセリングへの評価

カウンセリングを実際に利用した人が感じる利用上の問題点の中で、全体で最も回答者の割合が高かったのは、「カウンセリングの効果がよく分からない」(20.6%)であった。これをブロック拠点 (17.0%) と中核拠点全体 (25.0%) で比較すると中核拠点全体のほうがその割合は高く、また、中核拠点間で比較すると、最もこの項目の割合が高かったのは中規模中

核の36.0%であった。カウンセリングは受けているが、利用当事者にとってカウンセリングの効果が実感されない原因としていくつかの点が指摘できるだろう。カウンセリングではたとえどのような相談内容であっても、利用当事者とカウンセラーの間でこの支援関係の目的が両方で合意されるなんらかの契約の過程が必要である。契約とは文書を取り交わすといった形式的で堅苦しいものではなく、要するに両者が合意することである。カウンセリング関係がめざすことが合意されていない場合に、カウンセリング関係がなにに向き合おうとしているのかわからず、利用当事者にとって何に対する効果がどう起こっているのかわかりにくい可能性がある。また、カウンセリング関係で扱う問題では、すぐに解決策が見つかり、実生活上の解決や解消に至る問題もあれば、周囲との人間関係、自分自身の人生の振り返り、自己イメージの受け入れ、孤独感などある程度時間をかけてでないと何らかの解決や解消に至らない問題も多く、そのような問題に関しては短期的に効果が見えにくいという側面があると言えるだろう。利用当事者に効果がわかりにくいという問題を解決するための一つの方策として、カウンセリングを提供するカウンセラーの側から、カウンセリングの初期段階での契約をさらに明確に行うことが必要ではないかと考える。

ついで、回答者の割合が多い問題点は、「カウンセラーと時間が合わない」(14.7%)というカウンセリング実施上の実務的問題である。この項目を病院種別でみると、中規模中核 (20%) が最も割合が高く、大規模中核 (18.4%)

がそれに続いている。診療患者数を母数とするカウンセリング希望患者数と実働カウンセラー数との間の開きがカウンセリングの時間調整を困難にし、この問題に反映されている可能性がある。特に中規模中核と大規模中核でカウンセラー配置に関してなんらかの検討が必要ではないだろうか。

さらにカウンセリングによって起こった自分自身の変化つまり主観的効果に焦点づけて詳しく聞いた結果、回答者全体では約5割が肯定的な効果を認識していたが、約3割が「変化があったのか、なかったのか、よくわからない」と効果の不明瞭さを訴えていた。肯定的な効果の明確な認識が半数に留まっているという結果を、カウンセリングを提供する側はカウンセリングという支援に対する当事者からの評価として重大に受け止める必要がある。前述したように、効果が長期間に渡って少しずつ生じるために実感しにくいという点はあるものの、利用当事者のニーズとカウンセラーによるカウンセリングで扱う問題とその解決方法に関するアセスメントとプランニングが合致しているのか、また、問題解決に対するカウンセラーの専門的力が十分に準備され、機能しているのか、さらには、カウンセリング支援の内容に関する情報がさまざまな人や資源から利用当事者に適切に届いているのかなどについて、今後さらに詳細に調査し、肯定的な効果の明確な認識を高めるための具体的方策を積極的に検討する必要がある。主観的効果に関して、さらに病院種別の結果を見ると、中核拠点において効果ありとした者の割合は、他と比較して約10～20%の差で低くなっており、また、一方で

効果がなかったとした者の割合は、他と比較して約20%の差で高くなっていた。中規模中核のカウンセリング体制の特徴や課題の詳細な分析とつきあわせて、この結果を解釈することが可能となると考える。

次に利用者の主観的効果の具体的な内容では、回答者全体の結果で、「気持ち落ち着いた」(59.8%)、「以前より、病気のことを受け入れられるようになった」(43.6%)、「日常生活が前向きになった」(41.2%)、「病名告知後のショック・動揺落ち着いた」(39.7%)が上位を占めた。これらの項目は情緒や感情に関する効果および病気や日常生活への自分自身の認識変化への効果と理解できる。次いで多くの回答者に認識されていた主観的効果は、「症状や入院への不安がやわらいだ」(30.4%)、「受診が安定した」(25%)、「服薬が安定した」(21.6%)の治療への効果と「生活落ち着いた」(27.9%)、「生活上の具体的問題が解決した」(22.5%)の具体的生活への効果であった。一方で、「人間関係落ち着いた」(13.2%)、「性的関係落ち着いた」の人間関係への効果や「将来の目標が見つかった」(12.7%)、「人生の長年の課題が一定解決した」(8.8%)の長期的人生の課題・目標への効果を認識した者は多くはなかった。つまり、今回の調査結果では、全体では利用当事者はカウンセリングの主観的効果として、4～5割の者が情緒、感情、認識への効果を、また2～3割の者が治療、生活への効果を認めていた。しかし、人間関係や人生の課題への効果の認識はそれほど高くはなかった。

ただし、この結果をブロックと中核で比較す

ると、やや異なった傾向が見られた。治療への効果に関する項目では、「症状や入院への不安がやわらいだ」でブロック 27.7%:中核 33.7%、「受診が安定した」でブロック 21.4%:中核 29.3%、「服薬が安定した」でブロック 17.9%:中核 26.1%、と3項目すべてで中核のほうがブロックより主観的効果の割合が高かった。一方で、人間関係や人生の課題への効果に関する項目では、「人間関係が落ち着いた」でブロック 17.0%:中核 8.7%、「将来の目標が見つかった」でブロック 17.0%:中核 7.6%と治療への効果に関する項目とは逆転して、ブロックのほうが中核より主観的効果の割合が高かった。カウンセリングの導入から一般的に時間がまだ余り経っていない中核では、回答者が利用したカウンセリングの期間はまだ短く、また診療や治療とともに開始された可能性の高いカウンセリングが診療や治療と深い関連で捉えられており、そのためこのような効果認識につながっているのではないだろうか。また、ブロックでは、その状況とは反対に、カウンセリングの導入からすでに長年が経っており、回答者自身も比較的長い治療歴あるいはカウンセリング利用歴を持っている可能性があり、そのために、効果が顕在化するまでに時間を要する人間関係や人生の課題への効果も認識されているのではないだろうか。本調査では、カウンセリング利用期間はたずねていない。しかし、回答者の基本属性として感染からの期間を尋ねている。本報告は、各調査項目の単純集計を中心に結果を報告したが、今後感染からの期間とカウンセリングの利用あるいは利用した際の効果の認識の関連性について、さらなる分析を進め、プロ

ックと中核における利用や効果評価の違いを明確にしたいと考える。

(6) カウンセリング未利用者の考え

カウンセリング未利用者のカウンセリングに対する考えでは、回答者全体で、「カウンセリングが必要なことかどうか、よく分からない」(46.9%)、「カウンセリングで何をやるのかがよく分からない」(36.5%)、「カウンセリングに効果があるのか疑問」(28.1%)が上位3位までの結果となった。この3項目に関しては、ブロックと中核全体の間でその差は大きくなく、結果は類似した傾向を示した。この結果はまとめると、つまり、カウンセリングはどのような内容の支援なのか、また、その支援によってどんな効果が起こるのかわからず、またその点がよくわからないために、今の自分にとって利用すべきことなのかどうかも判断できないという一連の疑問の構造を示す結果だと考えられる。このような状態では、あらたな支援関係を始めることに躊躇が生じるであろう。上述したように利用者においても「カウンセリングの効果がよく分からない」(20.6%)との結果が示されている。今後必要とする人にさらにカウンセリングの利用を促進するためには、まず、カウンセリングで扱える相談テーマ、カウンセリングで行う支援の具体的方法、その結果生じる可能性のある効果などに関してさらに明確化する必要がある。また、それらを利用当事者にわかりやすい情報の形にし、その情報を利用当事者が手軽に入手できるツールなどによって確実に届ける必要があるだろう。現在までのところカウンセリングに関するパンフ

レットやHPの作成が行われているが、その内容とそれらへの利用当事者のアクセス方法について再度検討し、必要な修正を加える必要があるだろう。

一方、「カウンセラーから一方的な考えを押し付けられる気がする」、「カウンセリングは話を聞くだけで、具体的なアドバイスがもらえない気がする」、「カウンセリングを一度始めたら、中断できないのではないかと不安」、「カウンセリングを受けるところの病だと思われそう」の項目では、すべて10%前後の回答割合であった。つまり、カウンセリング支援に対する否定的な考え方を多くの回答者がもっているわけではないとの結果も示された。上記の考察と総合して言えることは、未利用者は、カウンセリングへの否定的な考えによって未利用に至っていたのではなく、カウンセリングの肯定的な情報の不足によって未利用に至っていたのである。

さらに、全体で約3割が「悩みがあっても、自分で解決できるのでいい」との考えを示した。この項目では、ブロック(35.1%)と中核(21.3%)で、約14%の差があった。

結論

本研究は、HIV陽性者の心理社会的負担の軽減や生活の質の向上に寄与しうる一つの支援方法であるカウンセリングに焦点づけ、ブロック拠点病院と中核拠点病院におけるカウンセリング支援を対象とし、HIV陽性者のニーズの差やカウンセリング利用に関する情報把握の現状およびカウンセリングを利用しやすい案

内や説明の有無、また、カウンセリング利用率、カウンセリング支援への考え方を明らかにすることによって、カウンセリング利用に関する課題と課題解決方策の検討を目的として実施された。7ヶ所のブロック拠点病院と20ヶ所の中核拠点病院に通院するHIV感染症患者に無記名自記式質問紙調査を実施し、配布数506部、回収数303部、回収率59.6%であった。悩みの経験率では、回答者全体において、悩みの各項目で経験率が概ね5割を超えており、HIV陽性者がHIV感染症罹患判明後に様々な悩みを体験する人が多いことが明らかになった。特に「HIV感染…によるショック・動揺」は9割以上の人が経験しており、HIV医療領域におけるHIV抗体陽性結果告知時における心理的支援がほぼ全ての人に必要であると考えられた。また、「HIV…を伝えるかどうか」について約8割以上、「セックスに関する不安や悩み」について約7割以上が悩みを経験していた。また、悩みの解決率では、「お薬を飲むことに関する悩み」、「体調の変化や入院について」、「医療スタッフとの関係について」がいずれも8割以上と比較的高かった。これらの悩みは、より現実的な医療の問題であると捉えられ、医療現場における現実的な解決のための対応が功を奏しているのかもしれないと考えられた。一方、悩みが解決している割合が低かったのは、「これからの恋愛や新しい出会いがうまくいくのかどうかについて」、「これからの生き方について」、「セックスに関する不安や悩み」であった。悩みの相談先には、医療に関わる比較的現実的な事柄に関しては医療スタッフに相談しているが、その他の事柄は誰にも相談せず自力での

解決を目指すか、悩みを抱えたままになっている可能性が示唆された。カウンセリングに関する情報の獲得では、回答者全体で、自分の通院する病院におけるカウンセリング利用可能性について7割強の回答者が情報を持っていた。しかし、カウンセリングの利用に関するより具体的な情報の獲得率は、決して高くはなかった。カウンセリングの実際の利用では、概ね7割の回答者がすでにカウンセリングを何らかの形で利用していた。カウンセリングを実際に利用した人が感じる利用上の問題点の中で、全体で最も回答者の割合が高かったのは、「カウンセリングの効果がよく分からない」(20.6%)であった。さらに、利用者の主観的効果の具体的な内容では、回答者全体の結果で、「気持ちが落ち着いた」(59.8%)、「以前より、病気のことを受け入れられるようになった」(43.6%)、「日常生活が前向きになった」(41.2%)、「病名告知後のショック・動揺が落ち着いた」(39.7%)が上位を占めた。また、カウンセリング未利用者のカウンセリングに対する考えでは、回答者全体で、「カウンセリングが必要なかどうか、よく分からない」(46.9%)、「カウンセリングで何をするのがよく分からない」(36.5%)、「カウンセリングに効果があるのか疑問」(28.1%)が上位3位までの結果となった。利用群、未利用群ともに、肯定的な効果の明確な認識を高めるために、情報提供の様々な方法について、積極的に検討する必要があることが示唆された。

引用文献

1) 野島和彦・矢永由里子 編 HIVと心理臨

床 ナカニシヤ出版, 2002.

- 2) 山中京子 HIV感染症に対するカウンセリング体制の現状および課題に関する研究—中核拠点病院診療医に対するアンケート調査結果を中心に— 日本性科学会雑誌, 2009.
- 3) 内野悌司ら HIV感染者の心理・社会的問題と相談ニーズに関する研究 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 HIV感染症の医療体制の整備に関する研究班 (主任研究者: 岡慎一) 平成18年度カウンセリング体制に関する研究報告書, 2007.

健康危険情報

該当なし

知的所有権の出願・取得状況

該当なし

研究発表

なし

学会発表

なし

図 1

全体 N=303

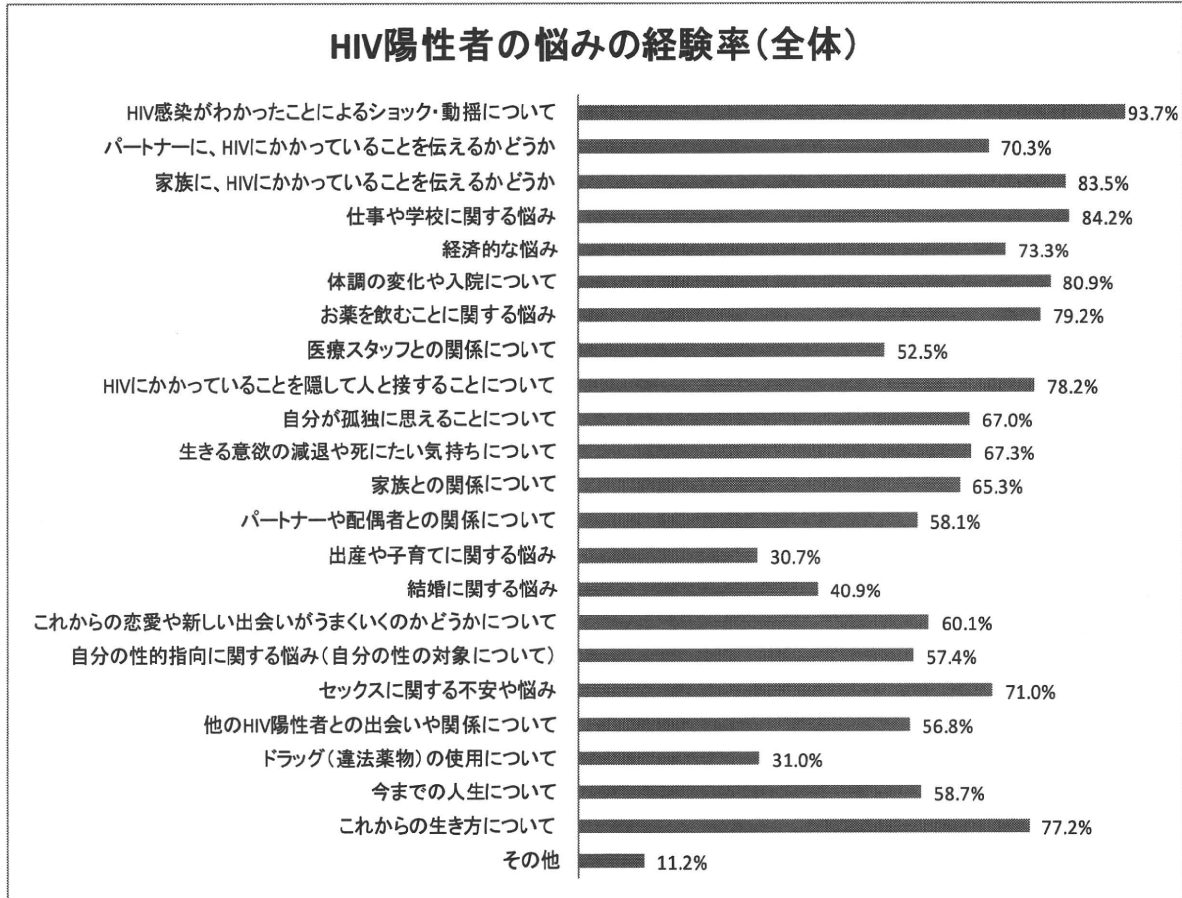


図 2

ブロック N=149 中核 N=154

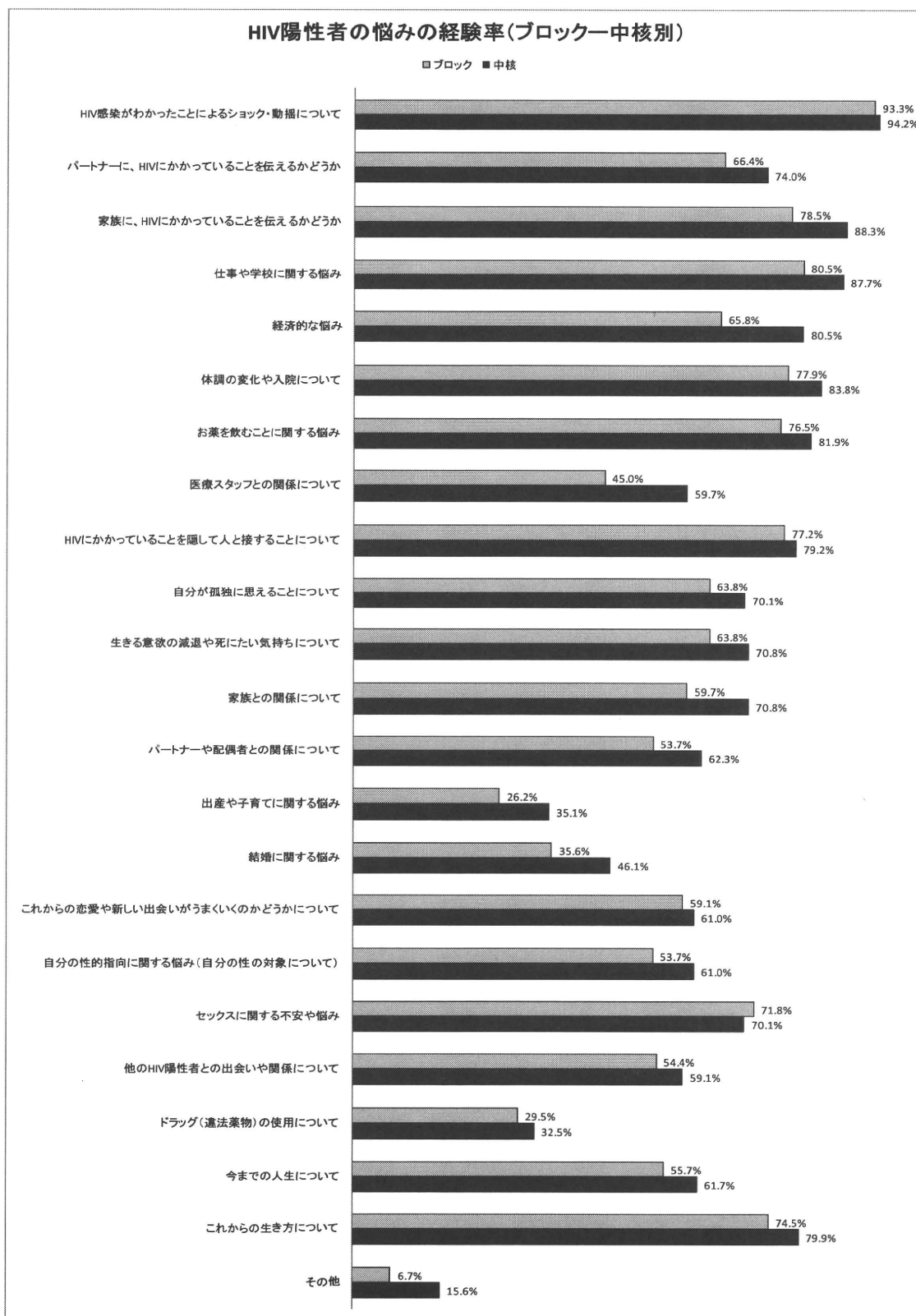
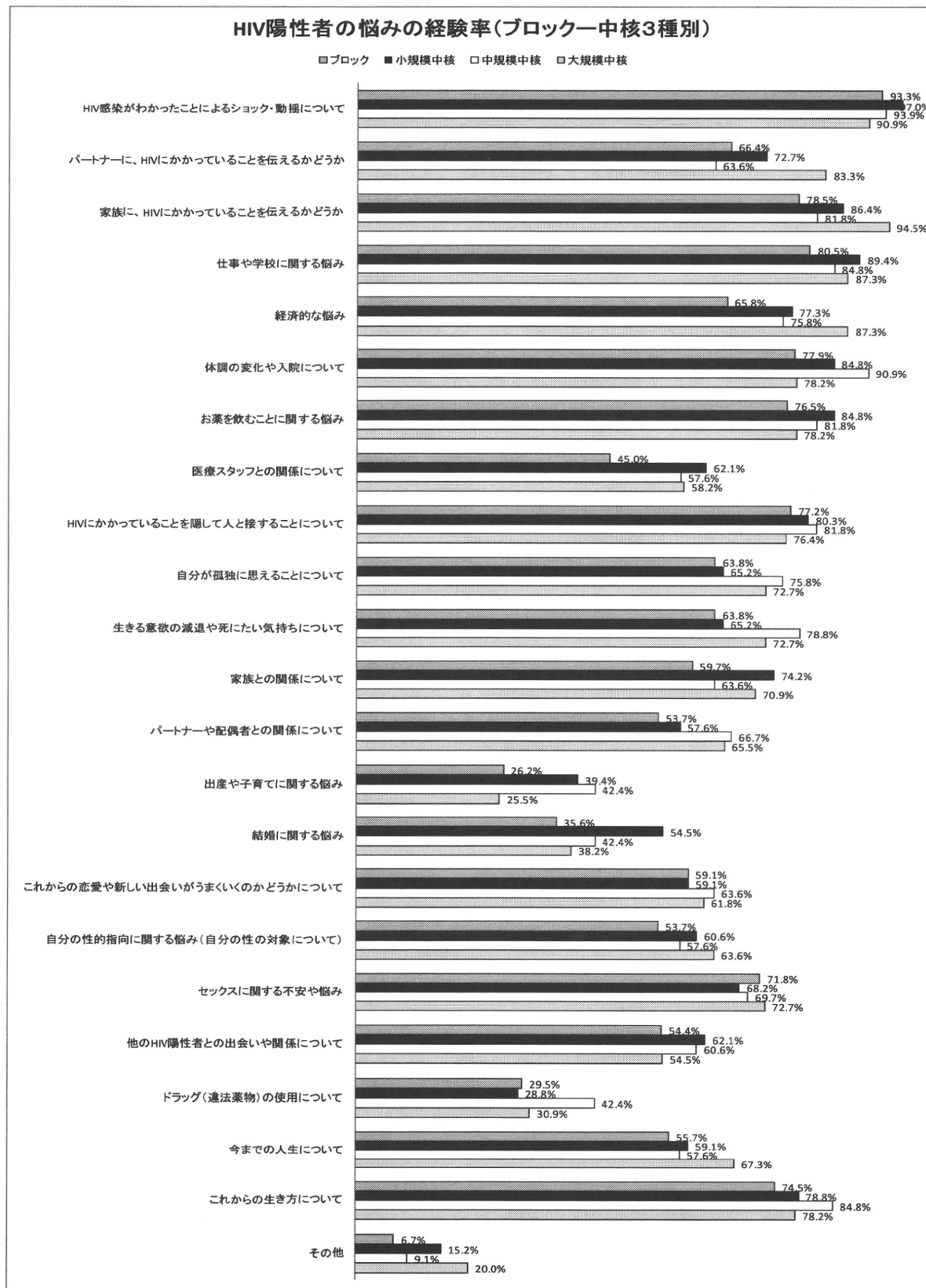
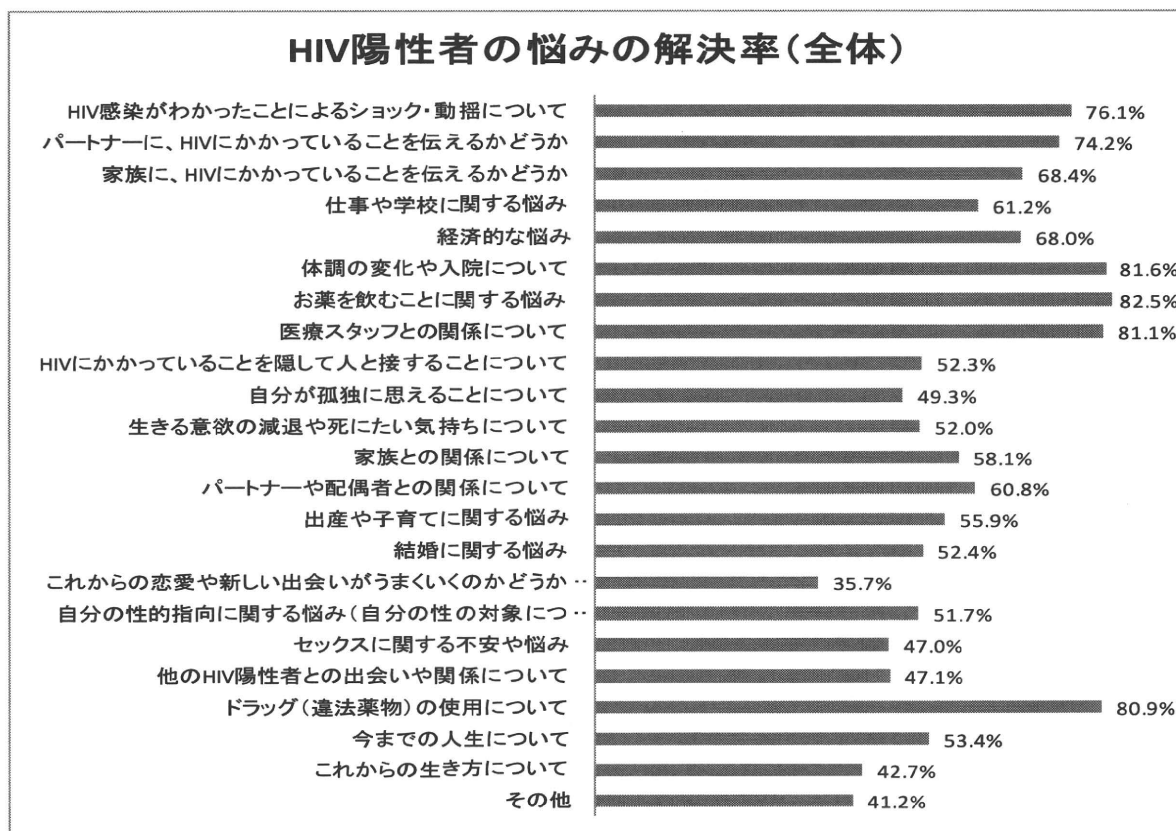


図 3

ブロック N=149、大規模中核 N=55、中規模中核 N=33、小規模中核 N=66





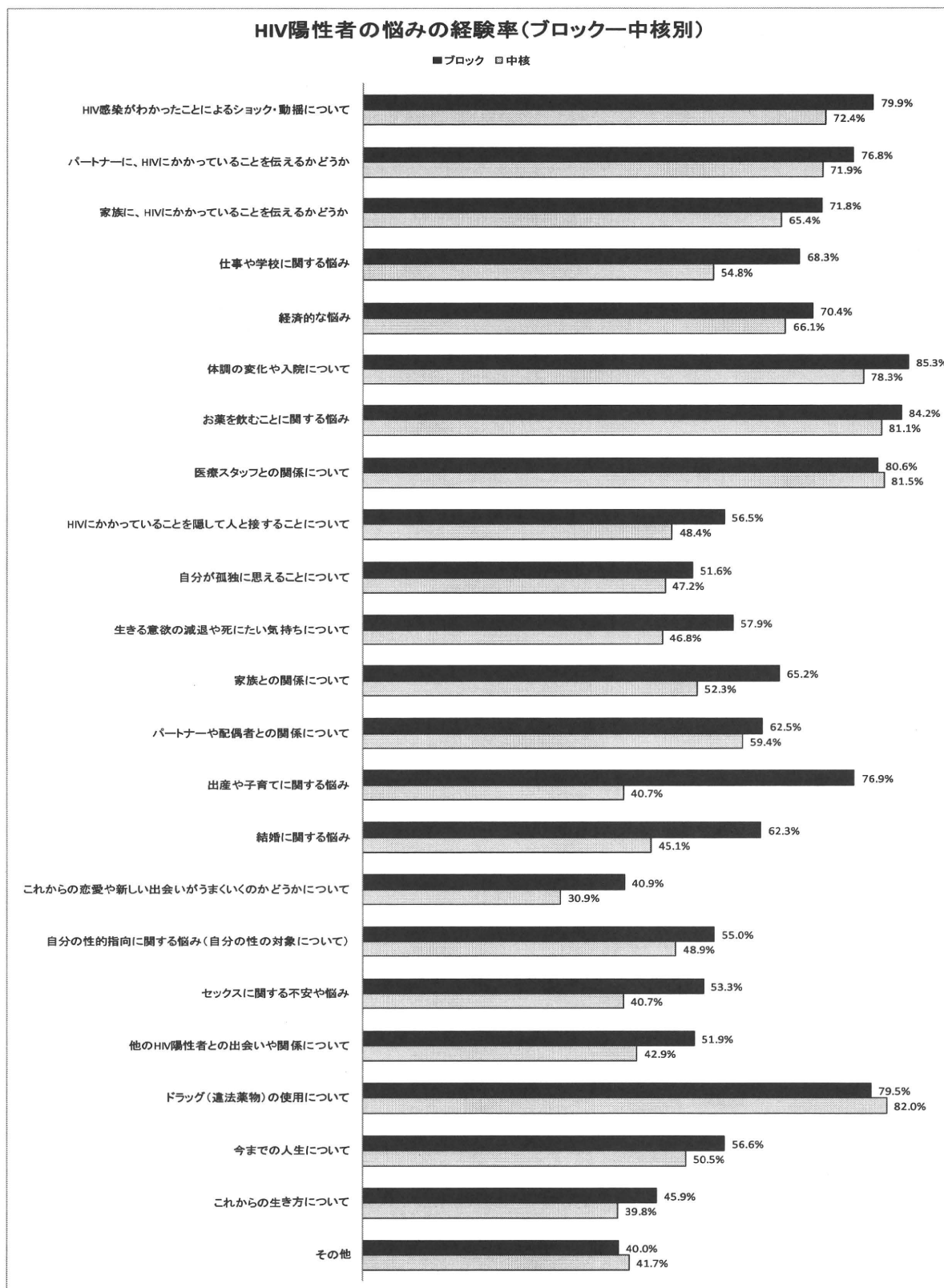


図 6

ブロック N=149、大規模中核 N=55、中規模中核 N=33、小規模中核 N=66

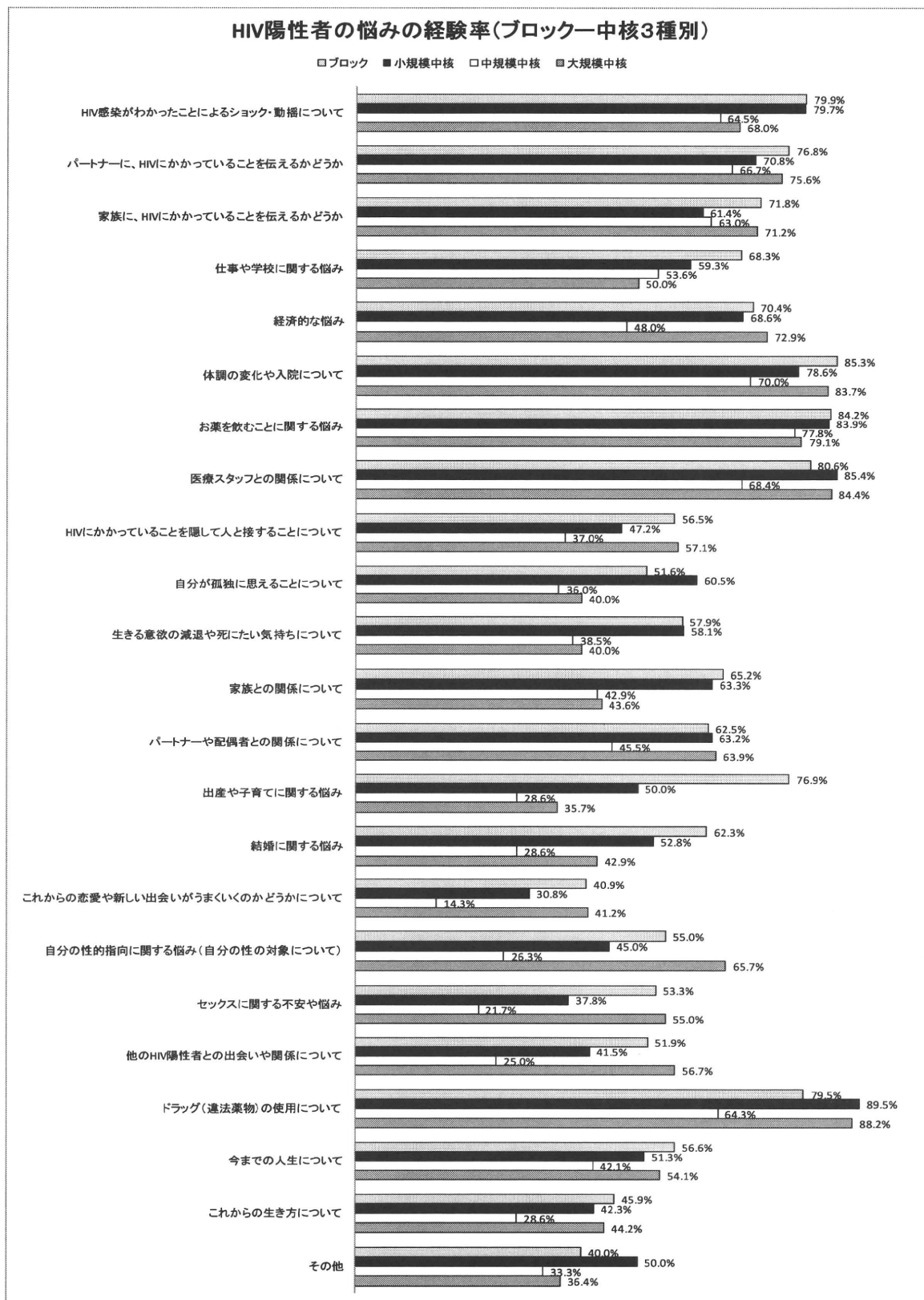


表1 悩みの相談先

全体 N=303

	相談なし	友人・知人	家族	パートナー	病院スタッフ	カウンセラー	他の人
HIV感染がわかったことによるショック・動揺について	22.5%	32.4%	28.5%	29.6%	34.5%	26.4%	3.9%
パートナーに、HIVにかかっていることを伝えるかどうか	41.3%	14.1%	6.1%	33.3%	12.2%	8.9%	1.4%
家族に、HIVにかかっていることを伝えるかどうか	40.7%	8.3%	23.7%	14.2%	19.8%	13.4%	2.4%
仕事や学校に関する悩み	34.5%	17.3%	15.3%	18.0%	35.7%	31.0%	6.3%
経済的な悩み	25.2%	11.7%	19.8%	18.5%	39.2%	32.4%	5.0%
体調の変化や入院について	13.5%	17.1%	20.8%	22.4%	64.5%	22.4%	5.3%
お薬を飲むことに関する悩み	11.7%	12.5%	10.8%	17.9%	74.6%	23.3%	3.3%
医療スタッフとの関係について	21.4%	12.6%	11.3%	14.5%	52.8%	35.2%	1.9%
HIVにかかっていることを隠して人と接することについて	35.0%	23.2%	12.2%	19.8%	31.6%	24.5%	3.0%
自分が孤独に思えることについて	47.3%	20.7%	9.9%	15.8%	15.3%	24.1%	2.5%
生きる意欲の減退や死にたい気持ちについて	45.6%	15.2%	11.8%	13.7%	20.6%	27.5%	4.4%
家族との関係について	38.4%	12.1%	20.7%	15.7%	23.2%	23.2%	1.0%
パートナーや配偶者との関係について	39.8%	18.8%	6.3%	33.0%	17.0%	18.2%	2.3%
出産や子育てに関する悩み	62.4%	5.4%	7.5%	15.1%	19.4%	10.8%	1.1%
結婚に関する悩み	62.9%	10.5%	14.5%	10.5%	15.3%	10.5%	1.6%
これからの恋愛や新しい出会いがうまくいくかどうかについて	56.6%	28.6%	3.3%	7.7%	7.7%	12.6%	1.1%
自分の性的指向に関する悩み(自分の性の対象について)	51.1%	17.2%	6.9%	12.6%	14.9%	16.1%	1.7%
セックスに関する不安や悩み	43.7%	19.1%	3.3%	14.9%	22.8%	16.3%	1.4%
他のHIV陽性者との出会いや関係について	53.5%	18.6%	2.3%	7.0%	20.3%	18.0%	3.5%
ドラッグ(違法薬物)の使用について	63.8%	11.7%	4.3%	6.4%	11.7%	6.4%	2.1%
今までの人生について	38.2%	26.4%	14.0%	18.5%	19.1%	28.7%	5.1%
これからの生き方について	29.5%	26.5%	21.8%	25.2%	24.4%	26.1%	4.7%
その他	26.5%	20.6%	11.8%	11.8%	26.5%	23.5%	0.0%

表2 悩みの相談先

ブロック N=149 中核 N=154

	病院種別	相談なし	友人・知人	家族	パートナー	病院スタッフ	カウンセラー	他の人
HIV感染がわかったことによるショック・動揺について	ブロック	23.7%	38.1%	26.6%	29.5%	33.8%	26.6%	4.3%
	中核	21.4%	26.9%	30.3%	29.7%	35.2%	26.2%	3.4%
パートナーに、HIVにかかっていることを伝えるかどうか	ブロック	36.4%	14.1%	5.1%	42.4%	13.1%	11.1%	2.0%
	中核	45.6%	14.0%	7.0%	25.4%	11.4%	7.0%	0.9%
家族に、HIVにかかっていることを伝えるかどうか	ブロック	41.9%	11.1%	28.2%	12.8%	13.7%	10.3%	1.7%
	中核	39.7%	5.9%	19.9%	15.4%	25.0%	16.2%	2.9%
仕事や学校に関する悩み	ブロック	37.8%	12.6%	14.8%	13.3%	37.8%	28.1%	3.7%
	中核	30.8%	22.5%	15.8%	23.3%	33.3%	34.2%	9.2%
経済的な悩み	ブロック	22.4%	13.3%	20.4%	24.5%	34.7%	32.7%	5.1%
	中核	27.4%	10.5%	19.4%	13.7%	42.7%	32.3%	4.8%
体調の変化や入院について	ブロック	10.3%	24.1%	22.4%	25.9%	64.7%	24.1%	7.8%
	中核	16.3%	10.9%	19.4%	19.4%	64.3%	20.9%	3.1%
お薬を飲むことに関する悩み	ブロック	7.9%	16.7%	10.5%	21.1%	76.3%	25.4%	4.4%
	中核	15.7%	8.7%	11.0%	15.0%	72.4%	21.3%	2.4%
医療スタッフとの関係について	ブロック	22.4%	10.4%	7.5%	20.9%	47.8%	35.8%	1.5%
	中核	20.7%	14.1%	14.1%	9.8%	56.5%	34.8%	2.2%
HIVにかかっていることを隠して人と接することについて	ブロック	33.0%	27.8%	9.6%	22.6%	28.7%	26.1%	5.2%
	中核	36.9%	18.9%	14.8%	17.2%	34.4%	23.0%	0.8%
自分が孤独に思えることについて	ブロック	40.0%	24.2%	6.3%	18.9%	18.9%	27.4%	3.2%
	中核	53.7%	17.6%	13.0%	13.0%	12.0%	21.3%	1.9%
生きる意欲の減退や死にたい気持ちについて	ブロック	37.9%	18.9%	12.6%	15.8%	25.3%	35.8%	5.3%
	中核	52.3%	11.9%	11.0%	11.9%	16.5%	20.2%	3.7%
家族との関係について	ブロック	33.7%	11.2%	22.5%	15.7%	24.7%	22.5%	2.2%
	中核	42.2%	12.8%	19.3%	15.6%	22.0%	23.9%	0.0%
パートナーや配偶者との関係について	ブロック	35.0%	22.5%	7.5%	38.8%	15.0%	18.8%	2.5%
	中核	43.8%	15.6%	5.2%	28.1%	18.8%	17.7%	2.1%
出産や子育てに関する悩み	ブロック	59.0%	5.1%	5.1%	23.1%	23.1%	7.7%	2.6%
	中核	64.8%	5.6%	9.3%	9.3%	16.7%	13.0%	0.0%
結婚に関する悩み	ブロック	67.9%	7.5%	15.1%	7.5%	15.1%	11.3%	1.9%
	中核	59.2%	12.7%	14.1%	12.7%	15.5%	9.9%	1.4%
これからの恋愛や新しい出会いがうまくいくかどうかについて	ブロック	53.4%	33.0%	5.7%	10.2%	9.1%	15.9%	2.3%
	中核	59.6%	24.5%	1.1%	5.3%	6.4%	9.6%	0.0%
自分の性的指向に関する悩み(自分の性の対象について)	ブロック	50.0%	16.3%	7.5%	16.3%	12.5%	18.8%	2.5%
	中核	52.1%	18.1%	6.4%	9.6%	17.0%	13.8%	1.1%
セックスに関する不安や悩み	ブロック	35.5%	22.4%	3.7%	20.6%	26.2%	21.5%	1.9%
	中核	51.9%	15.7%	2.8%	9.3%	19.4%	11.1%	0.9%
他のHIV陽性者との出会いや関係について	ブロック	48.1%	22.2%	2.5%	7.4%	22.2%	25.9%	4.9%
	中核	58.2%	15.4%	2.2%	6.6%	18.7%	11.0%	2.2%
ドラッグ(違法薬物)の使用について	ブロック	63.6%	15.9%	4.5%	9.1%	11.4%	6.8%	4.5%
	中核	64.0%	8.0%	4.0%	4.0%	12.0%	6.0%	0.0%
今までの人生について	ブロック	37.3%	27.7%	15.7%	22.9%	20.5%	28.9%	7.2%
	中核	38.9%	25.3%	12.6%	14.7%	17.9%	28.4%	3.2%
これからの生き方について	ブロック	22.5%	29.7%	22.5%	28.8%	23.4%	27.9%	7.2%
	中核	35.8%	23.6%	21.1%	22.0%	25.2%	24.4%	2.4%
その他	ブロック	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	30.0%	40.0%	0.0%
	中核	29.2%	12.5%	8.3%	8.3%	25.0%	16.7%	0.0%

図 7

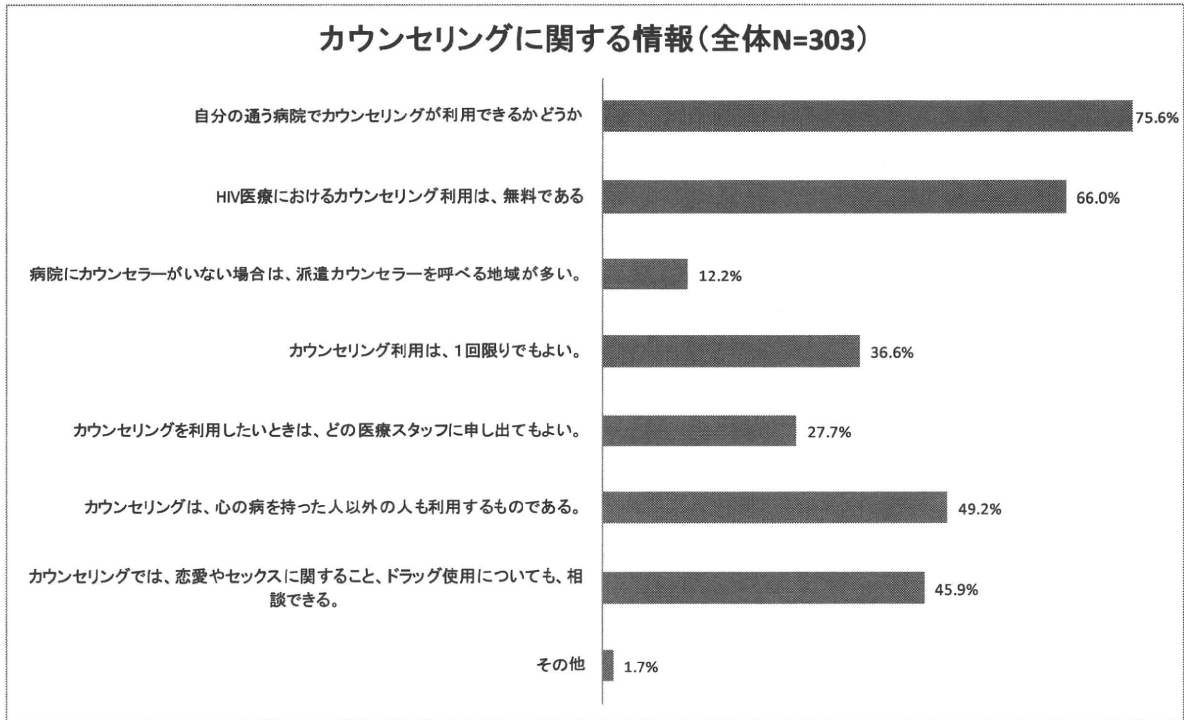


図 8

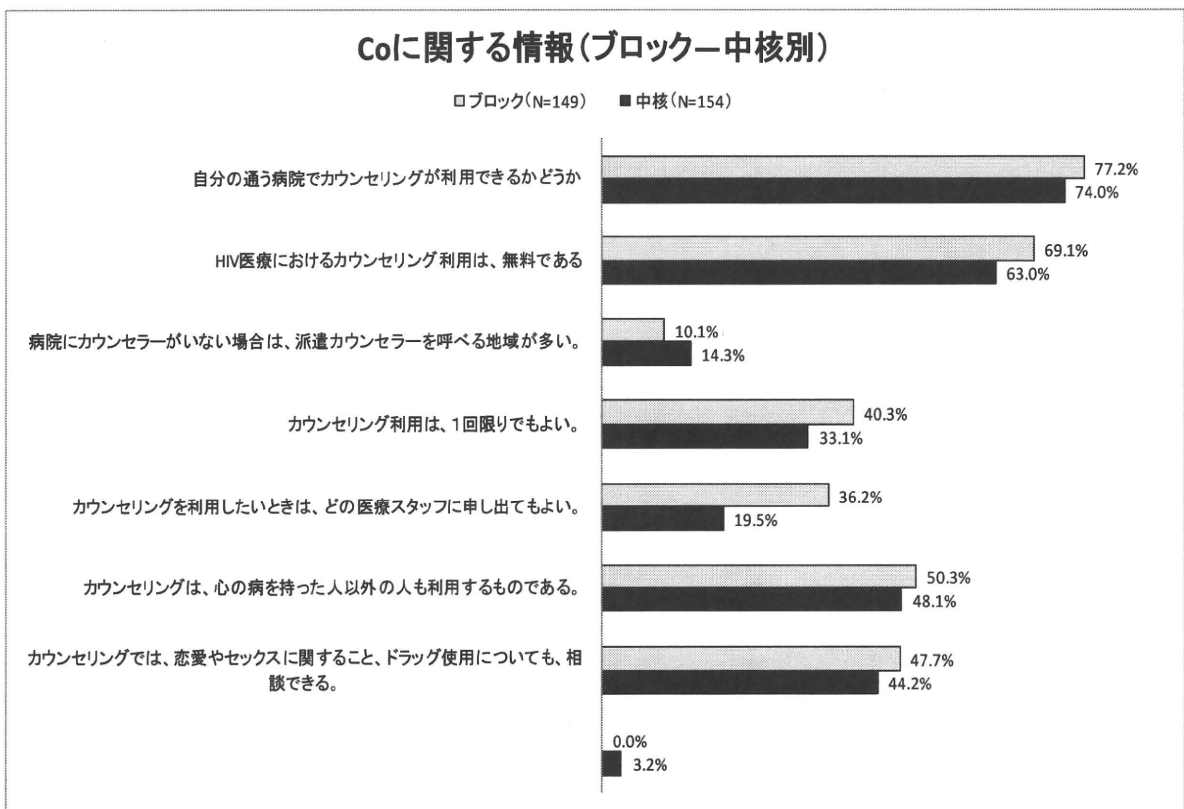


図 9

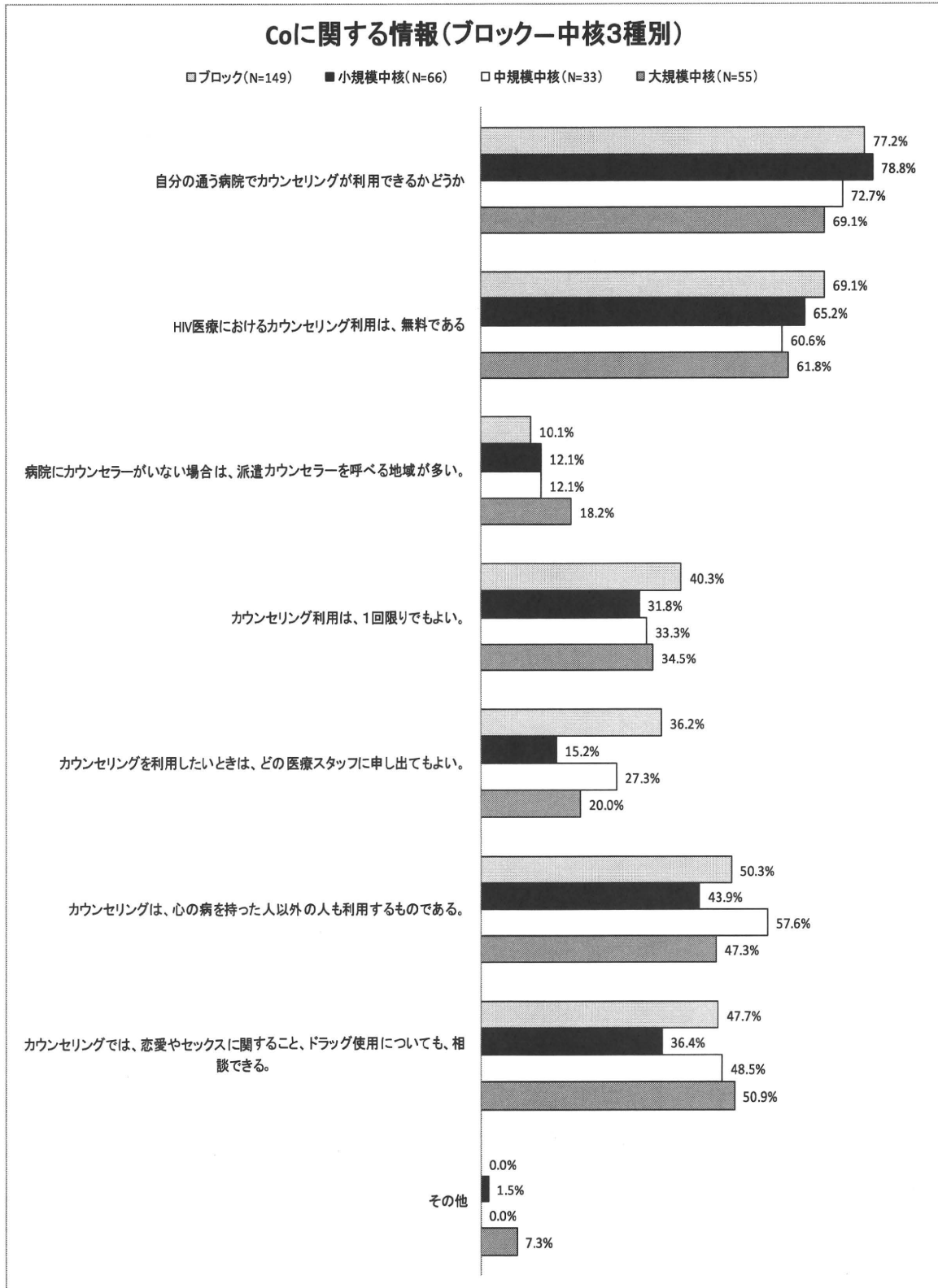


図 10

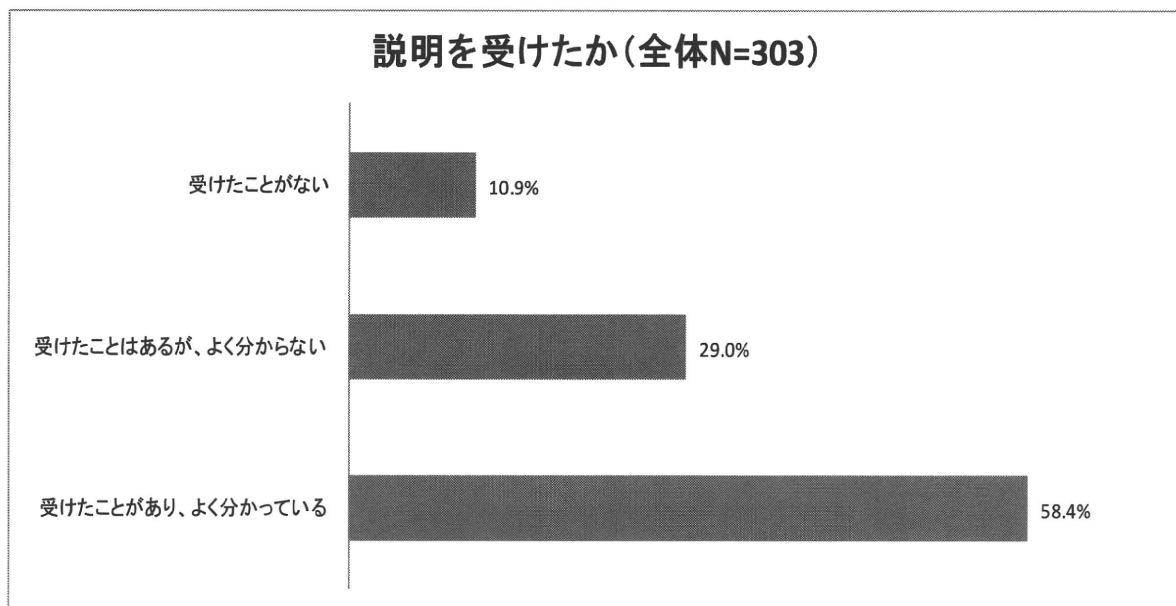


図 11

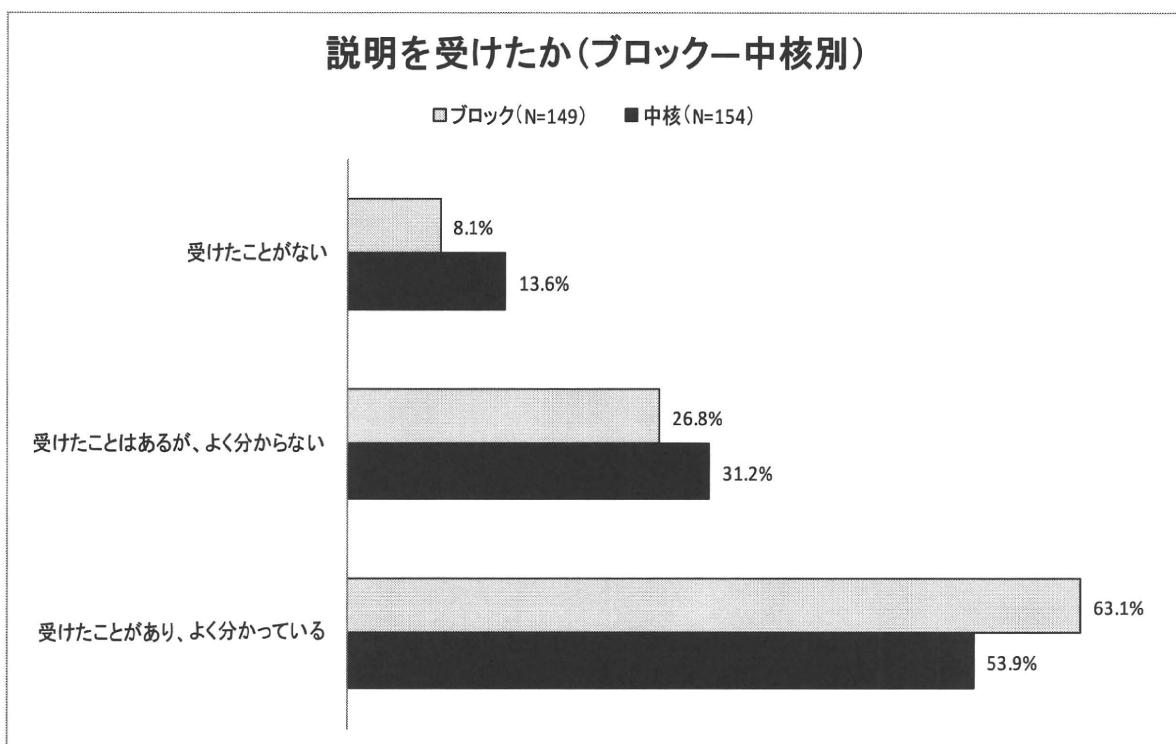


図 12

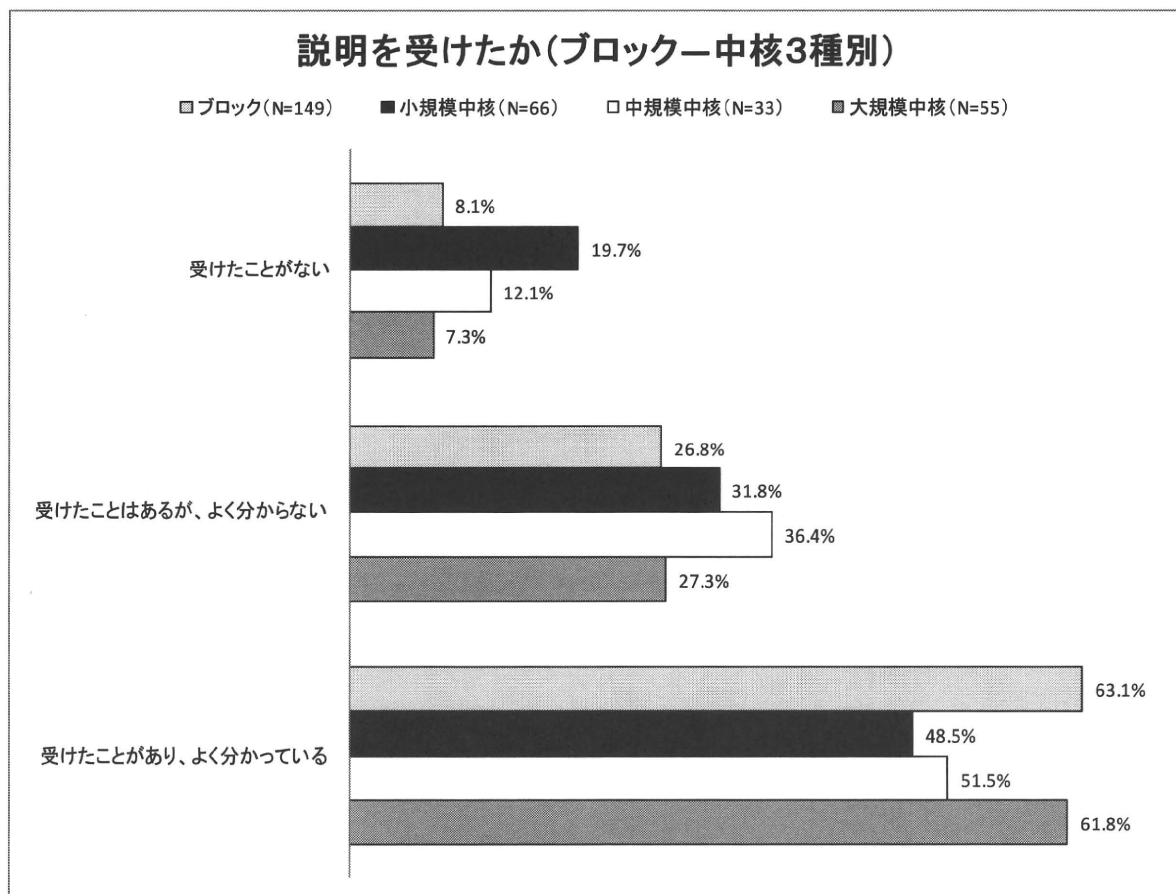


図 13

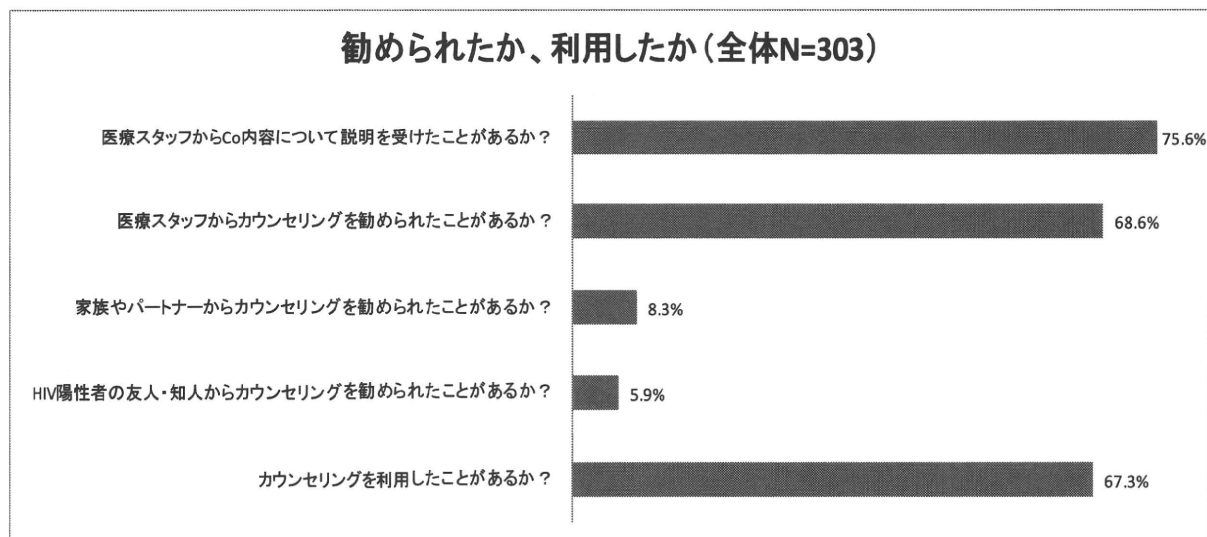


図 14

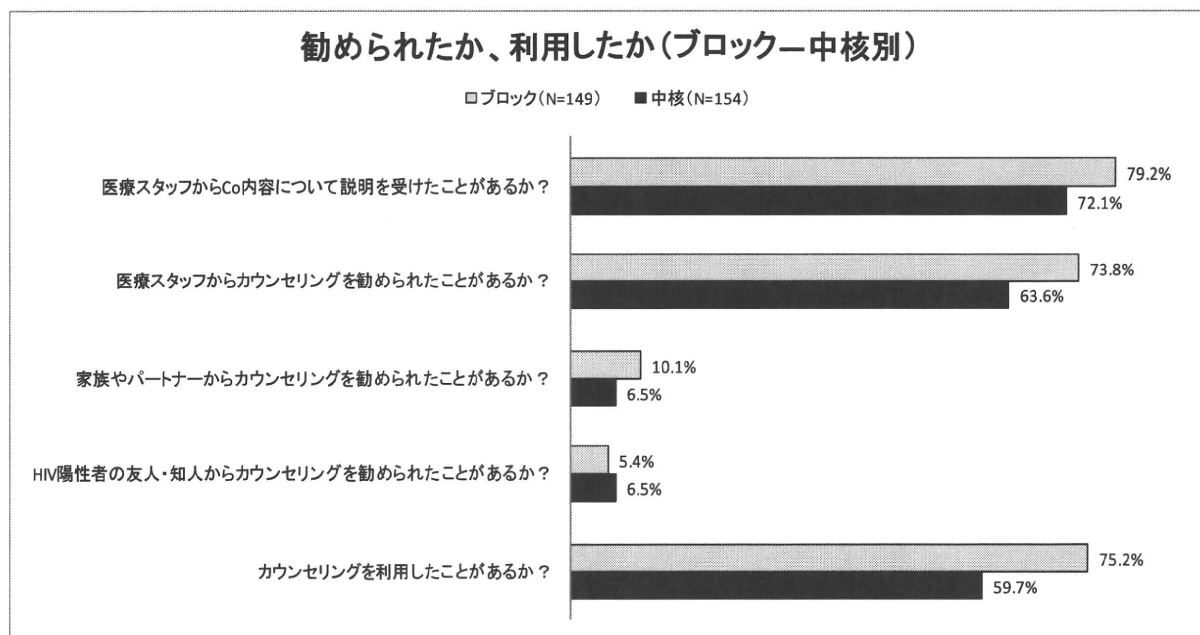


図 15

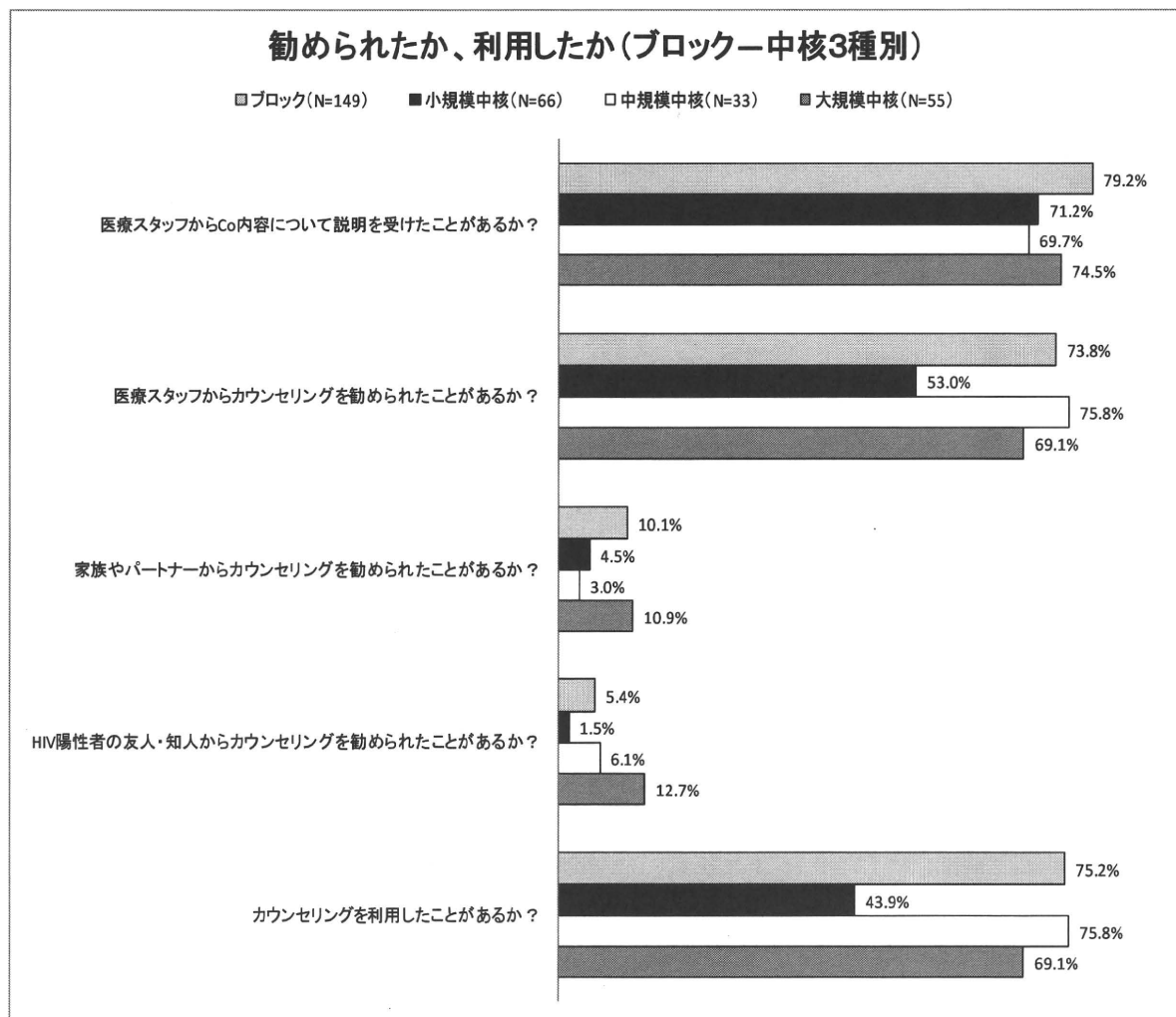


図 16

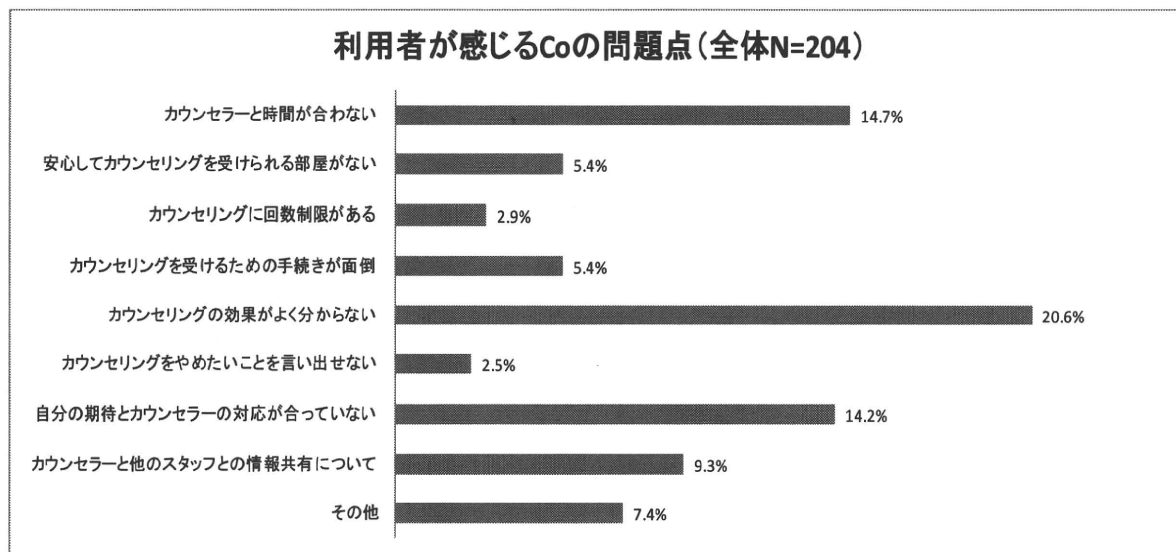


図 17

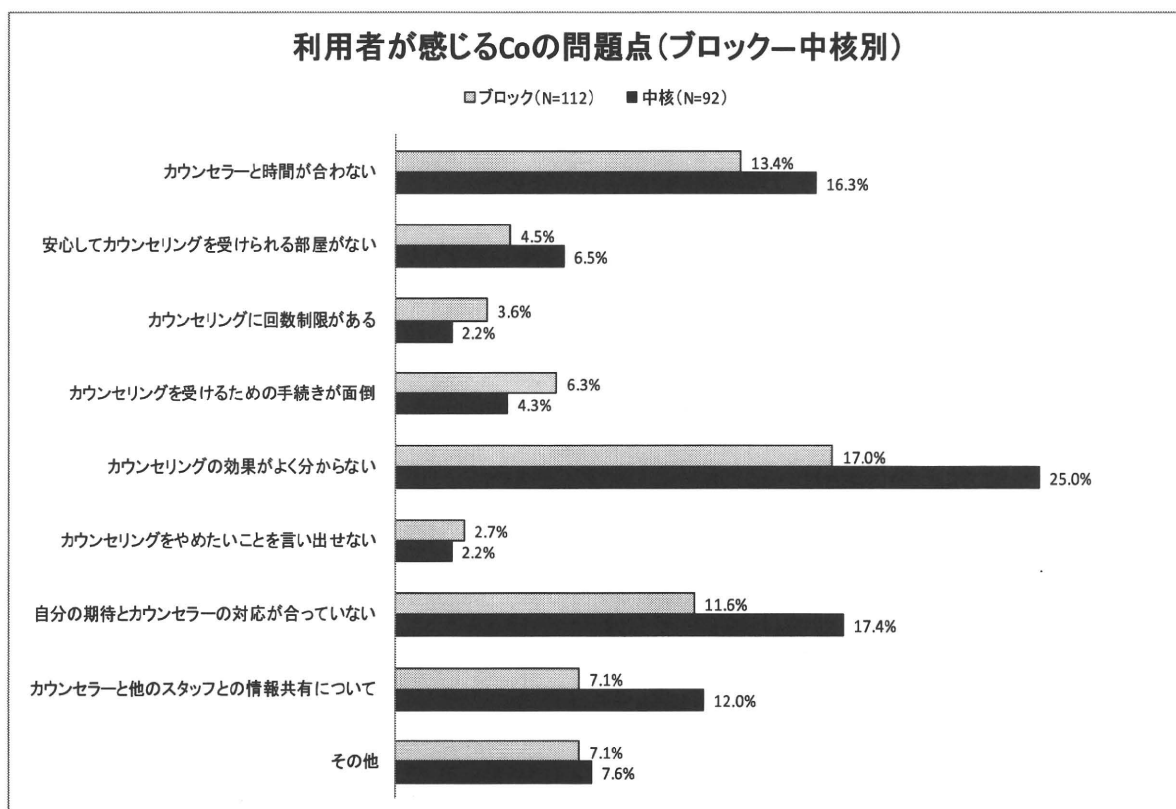


図 18

